

平成 22 年 6 月 28 日  
株式会社 山梨中央銀行

## 投資信託窓口販売における取扱商品の追加について

株式会社 山梨中央銀行（頭取 芦澤 敏久）は、お客さまの多様化・高度化する資産運用ニーズにきめ細かくお応えするため、投資信託窓口販売商品に 2 商品を追加いたします。

### 1. 追加する商品

- 「ブラデスコ ブラジル債券ファンド（分配重視型）」（三菱UFJ投信）
- 「ラサール・グローバル REIT ファンド（毎月分配型）」（日興アセットマネジメント）

### 2. 取扱開始日

平成 22 年 7 月 1 日（木）

### 3. 商品の主な特徴

ブラデスコ ブラジル債券ファンド （分配重視型）	ブラジルリアル建てのブラジル国債を中心に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
ラサール・グローバル REIT ファンド （毎月分配型）	世界各国の上場不動産投信（REIT）を中心に投資を行ない、比較的高い分配金利回りを安定的に獲得することをめざします。

### 4. 商品の内容およびリスクについて

追加する商品の内容およびリスク等については、別紙をご覧ください。

当行では、今後とも、よりお客さまにご満足いただける商品・サービスの提供に努めてまいります。

株式会社 山梨中央銀行  
登録金融機関 関東財務局長（登金）第 41 号  
加入協会 日本証券業協会

以 上

## &lt; 追加する商品の内容 &gt;

## &lt; ブラデスコ ブラジル債券ファンド(分配重視型) 商品内容 &gt;

商品名	ブラデスコ ブラジル債券ファンド(分配重視型)
委託会社	三菱UFJ投信株式会社
商品分類	追加型投信 / 海外 / 債券
ファンドの特色	主として、ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、ブラジルリアル建てのブラジル国債を中心に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ブラデスコ・アセットマネジメントにマザーファンドにおける債券等の運用指図に関する権限を委託します。 実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
申込コース	・分配金受取コース ・分配金再投資コース
申込単位	・分配金受取コース：1万円以上1円単位 ・分配金再投資コース：1万円以上1円単位
定時定額取引(積立)	可能です。
販売手数料	申込金総額に対して3.15%(税抜3.00%)
追加設定時信託財産留保額	ご購入お申込日の翌営業日の基準価額 × 2%
信託報酬	ファンドの純資産総額に、年1.575%(税抜年1.500%)の率を乗じて得た額
購入・解約不可日	サンパウロ証券取引所およびサンパウロの銀行、ニューヨークの銀行のいずれかが休業日の場合には、購入・解約請求することができません。
約定日	ご購入お申込日の翌営業日
購入価額	ご購入お申込日の翌営業日の販売基準価額 (ご購入お申込日の翌営業日の基準価額 + 追加設定時信託財産留保額)
解約価額	ご解約お申込日の翌営業日の基準価額
信託期間	平成20年11月7日から平成30年10月9日まで ただし、ファンドの残存口数が30億口を下回った場合等には、信託期間の途中で信託を終了させることがあります。
収益分配	毎月8日(休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づき分配を行います。 ・「分配金受取コース」 収益分配金は、税金を差引いた後、原則として決算日から起算して5営業日以内に、販売会社において受益者にお支払いいたします。 ・「分配金再投資コース」 収益分配金は、税金を差引いた後、「自動けいぞく(累積)投資契約」に基づき、決算日の販売基準価額により自動的に無手数料で全額再投資されます。
解約代金支払い	ご解約のお申込日から起算して6営業日目からお支払いいたします。

主な商品リスク

**価格変動リスク**

当ファンドは、公社債を実質的な主要投資対象としており、公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け公社債の価格が下落した場合には基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

**為替変動リスク**

実質的な主要投資対象である海外の公社債は外貨建資産ですので、為替変動の影響を受けます。そのため、為替相場が円高方向に進んだ場合には、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

**信用リスク**

信用リスクとは、有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となること等をいいます。当ファンドは、信用リスクを伴い、その影響を受けますので、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

**流動性リスク**

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている公社債の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

**カントリー・リスク**

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込む可能性が高まる可能性があります。

<ラサール・グローバル REIT ファンド（毎月分配型） 商品内容 >

商品名	ラサール・グローバル REIT ファンド（毎月分配型）
委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
商品分類	追加型投信 / 内外 / 不動産投信
ファンドの特色	<p>世界各国の上場不動産投信（REIT）を中心に投資を行い、比較的高い分配金利回りを安定的に獲得することをめざします。</p> <p>外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジは行いません。</p> <p>原則として、毎月5日（休業日の場合には翌営業日）に決算を行い、安定した収益分配を行うことをめざします。</p>
申込コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分配金受取コース</li> <li>・分配金再投資コース</li> </ul>
申込単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分配金受取コース：1万円以上1円単位</li> <li>・分配金再投資コース：1万円以上1円単位</li> </ul>
定時定額取引（積立）	可能です。
販売手数料	申込金総額に対して3.15%（税抜3.00%）
信託財産留保額	ありません。
信託報酬	ファンドの純資産総額に、年1.575%（税抜年1.500%）の率を乗じて得た額
購入・解約不可日	ニューヨーク証券取引所およびニューヨークの銀行、オーストラリア証券取引所の休業日に該当する日については、購入・解約請求することができません。
約定日	ご購入お申込日の翌営業日
購入価額	ご購入お申込日の翌営業日の基準価額
解約価額	ご解約お申込日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限
収益分配	<p>毎月5日（休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づき分配を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「分配金受取コース」 収益分配金は、税金を差引いた後、原則として決算日から起算して5営業日以内に、販売会社において受益者にお支払いいたします。</li> <li>・「分配金再投資コース」 収益分配金は、税金を差引いた後、「自動けいぞく（累積）投資契約」に基づき、決算日の基準価額により自動的に無手数料で全額再投資されます。</li> </ul>
解約代金支払い	ご解約のお申込日から起算して5営業日目からお支払いいたします。

<p>主な商品リスク</p>	<p><b>価格変動リスク</b>  不動産投信は、不動産を運用対象とする商品で、かつ市場で取引されますので、不動産を取り巻く環境、不動産市況や金利動向、マクロ経済の変化など、様々な要因で分配金や価格は影響を受けます。</p> <p><b>流動性リスク</b>  市場規模や取引量が少ない場合、組入銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。</p> <p><b>信用リスク</b>  不動産投信が支払不能や債務超過の状態になった場合、またはそうなることが予想される場合、大きな損失を被る可能性があります。また、金融商品取引所が定める一定の基準に該当した場合、上場が廃止される可能性があります。</p> <p><b>為替変動リスク</b>  外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。</p>
<p>不動産投信の主な商品リスク</p>	<p>不動産投信は、不動産を運用対象とする商品で、かつ、市場で取引されますので、不動産を取り巻く環境、不動産市況や金利動向、マクロ経済の変化など、様々な要因で分配金や価格は影響を受けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不動産の価格は、不動産市況、社会情勢その他の要因を理由として変動します。さらに不動産の流動性は一般に低く、望ましい時期に売却することができない可能性、売却価格が下落する可能性があります。元本が保証された商品ではありません。</li> <li>・ 不動産投信は、一般の法人と同様に倒産のリスクがあります。法的倒産手続きを開始した場合、本投資証券の価格が著しく下落し、無価値になることも予想されます。</li> <li>・ 不動産について、火災、爆発、水災その他の事故について、火災保険などの保険契約で支払われる上限額を上回る損害が発生した場合には、著しい悪影響を受ける可能性があります。</li> <li>・ 地震、噴火、津波などの災害により不動産が滅失、劣化または毀損し、その価格が影響を受ける可能性があります。</li> <li>・ 不動産からの収入が減少する可能性や、不動産に関する費用は増大する可能性があり、分配金額が悪影響を受けることがあります。</li> <li>・ 収益は、不動産の賃料収入に依存しています。賃料収入は、不動産の稼働率の低下、賃料水準の低下、テナントによる賃料の支払債務の不履行・遅延などにより減少する可能性があります。</li> <li>・ 退去するテナントへの敷金・保証金の返還、多額の資本的支出、未稼働不動産の取得などは、分配金額に悪影響を及ぼす可能性があります。</li> <li>・ 金融商品取引所が定める基準に抵触し、上場廃止になった場合には、取引が著しく困難になる可能性があります。</li> </ul>

### 投資信託に関する留意点

- ・投資信託は、預金ではありません。
- ・投資信託は、預金保険の対象ではありません。
- ・当行でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ・投資信託は、価格変動を伴う金融商品のため元本は保証されません。ファンドの主なリスクについては、上記の「主な商品リスク」欄をご確認ください。
- ・投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入いただいたお客さまに帰属します。
- ・投資信託は、書面による契約の解除（クーリングオフ）の適用はありません。
- ・ご契約にあたっては、「契約締結前交付書面」（目論見書）をお渡しいたしますので必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。「契約締結前交付書面」（目論見書）は当行本支店の窓口にご用意しております。